

健康日本 21 清須計画（第 2 次）及び清須市自殺対策計画に関する実務者会議報告書

1. 日 時 令和 6 年 9 月 1 3 日（金）午後 2 時から 3 時 3 0 分
2. 場 所 南館 3 階 大会議室
3. 参加者 24 名
4. 【内訳】庁内 22 課^{※1}、社会福祉協議会^{※2}、清須保健所^{※3}、健康推進課^{※4}

※1 人事秘書課、企画政策課、企業誘致課、総務課、財政課、財産管理課、税務課、収納課、市民課、産業課、社会福祉課、高齢福祉課、こども家庭課、土木課、都市計画課、上下水道課、新清洲駅周辺まちづくり課、会計課、学校教育課、スポーツ課、学校給食センター管理事務所、監査課（欠席：危機管理課、保険年金課、生活環境課、児童保育課、議事調査課、生涯学習課）

※2 地域包括支援センター（職員 1 名と学生 2 名）、障がい者サポート支援センター清須（欠席：地域福祉係）

※3 総務企画課

※4 実務者会議担当者 7 名（課長（あいさつのみ）、西村、川島、祖父江、青山、仲村、北原）

5. 目的 「健康日本 21 清須計画（第 2 次）」「清須市自殺対策計画」に基づき、市役所等の各課との情報交換の中で連携を図り、全庁で計画の推進を目指す。

内容

- 1) あいさつ
- 2) 健康日本 21 清須計画（第 2 次）及び自殺対策計画について
- 3) 各課のとりくみ状況についてグループワーク
 - ① 健康に関することについて、課でのとりくみ状況の共有
 - ・行政出前講座を開催し、地域と繋がるようにしている。
 - ・公園に健康遊具を設置し、子どもだけでなく高齢者にも利用してもらうようにする。
 - ・生活習慣病予防教室や健康相談等実施。
 - ・市内施設（新川西部浄化センター緑地）の運動用の遊具の維持管理を行う。

<職員に対して>

 - ・職員健診、ストレスチェックを実施。市役所内で、喫煙の禁止を啓発している。
 - ・健康日本 21 計画を課のメンバーに周知する。
 - ・体調管理をしっかりと整える。自分自身が体調不良になった場合に、話し合える雰囲気をつくる。
 - ・プライベート時間を確保し、心身を整える。
 - ② 自殺対策計画または自殺対策について、課でのとりくみ状況の共有
 - ・パンフレットを設置したり、散策路に見て楽しめるものなどを（看板等）設置することで、外にでることに繋がるように工夫している。
 - ・給食の時間にスクールカウンセラーが出向き、子どもたちの相談にのるようにしている。
 - ・心の健康相談、心の講座等を実施、啓発する。
 - ・相談などで求める支援先につなぐ。

<職員に対して>

 - ・計画を各課で周知する。
 - ・職員研修で、メンタルヘルスの内容を実施。職員用の心の相談室を設置。
 - ・相談しやすい環境づくり、心の安定に心がける。→利用者(地域包括)のためにもなる。

- ・業務などの悩みを共有する。

【総評】

愛知県清須保健所 総務企画課 保健師 山口 梨恵 様

第3期健康日本21 あいち計画の内容に、自然と健康になる環境づくり、という考え方が増えた。環境を整えるためには、担当課のみでは限界があるため、今回のように全庁的に考えられる時間は非常に貴重な会議と思われる。今後も継続し、連携を図って頂きたい。

ゲートキーパー養成講座が始まった頃からよく耳にする話が、レインボーブリッジでの飛び降り自殺について、夜の暗い海方面ではなく、都市の明るい方面に向かって飛ぶ人が多いこと、最後まで持っている物は携帯電話という話だった。自殺者がゼロにはならないのが現状だが、飛び降りる直前まで光を見ようとしたり、誰かからの連絡を待っているのかもしれない。自分がゲートキーパーになるかもしれない、助けになれるかもしれないことを覚えていてほしい。

4) 従事者の意見・感想

- ・実務者会議の内容が、職員間の事か対市民の事かわからなかった、と意見があった。今後は誰を対象とするか、テーマを具体的にすると進めやすく、意見も出やすいかもしれない。
- ・グループワークをすることで、他課で何を事業として実施しているか知ることが多い。顔を合わせることで関係が広がり、共有することで今後の連携になると思う。
- ・健康について事業では実施していなくても、今回のような共有できる場は貴重なので、定期的に継続することに意味があると思う。

まとめ

グループワークを実施し、各課のとりくみについて情報共有することができた。結果、全庁的に実施していることを共有し、顔が繋がることで、連携を図るきっかけになった。今後も健康計画の推進に努めていきたい。

